



# 東京工業大学 『工学院教育基金』 ご寄附のお願い

Giving to School of Engineering



イノベーションをリードする工学人材育成に向け、東京工業大学・工学院の教育に用途を特定した基金へのご寄附をお願いします。

Gifts to School of Engineering helps young talent make innovation happen!

東京工業大学・工学院



東京工業大学  
Tokyo Institute of Technology

## 工学院教育に対するご支援のお願い

### —世界に誇れる最先端の工学教育を支える基金—

2016年4月、東京工業大学の教育改革・組織改革に伴い、新たな教育組織として工学院は誕生しました。工学院は、工学の基幹分野を担当できる機械系、システム制御系、電気電子系、情報通信系、経営工学系の5つの系ならびにそれらに続く大学院課程各コースからなっています。

工学院では、すべての所属学生が、最高の環境でコースワークと研究室での研究に打ち込めるように、工学院教育の充実に使途を特定した工学院教育基金を設立しました。この基金は、皆様からのご寄附で成り立っています。皆様のご寄附が、ご子息・ご息女や、後輩のうける教育の環境整備に、将来のイノベーションの創出に直接つながります。

日本国の財政が厳しさを増し、国立大学法人の教育を支える運営費交付金は減少が続いています。その中でも、世界トップクラスの工学教育を実現するため東工大の工学院は大胆で先端的な教育を企画、推進しています。しかし、そうした大胆で先端的な教育はコストもかかります。それを支える上で、皆様からのご寄附による教育資金は極めて重要な位置づけです。そのため工学院では学生教育の充実と高度化に柔軟に使用可能な工学院教育基金を設立・運営しております。

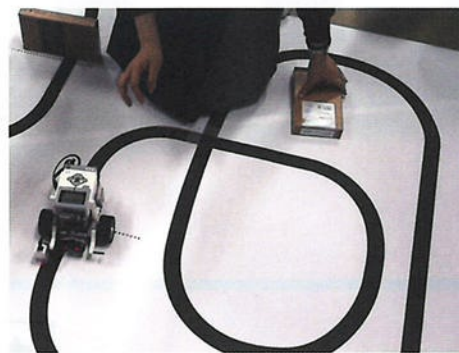
世界に誇れる東工大の工学教育を将来にわたり維持し、発展させるためには皆様のご支援が欠かせません。皆様からの工学院教育基金へのご寄附を心よりお待ちしております。

工学院院长 井上 光太郎

## 工学院教育基金の趣旨と主な使途

工学院教育基金は、工学院の教育高度化と、所属学生の研究活動および国際交流を直接的に支援することを目的としています。具体的には、以下の教育・研究支援プログラムの支援に集中して使用します。

- ▶ 工学院の提供する教育プログラムの充実と高度化
- ▶ 大学の海外留学プログラムに参加学生の渡航支援
- ▶ 工学院所属学生の自由かつ野心的な研究活動およびアントレプレナーシップ(起業家精神)の支援



基金支援科目：初年次工学リテラシー  
(ライトレースロボ実験)

## 工学院教育基金へのご寄附

10万円以上の寄附を頂いた方には工学院パートナーとして、工学院長との茶話会にご招待させていただき、工学院長が工学院教育の方向性についてご報告させて頂くとともに、皆様の工学院へのご期待を直接お伺いします。



基金イベント：持続可能ビジネスプランコンテスト

## 工学院教育基金へのご寄附への感謝

1千円以上	感謝の集いご招待 (年1回)
10万円以上	上記のほか、 <b>工学院パートナー</b> として工学院特別セミナーへのご招待、工学院長の茶話会 (年1回) へのご招待
30万円以上	上記のほか、大学より記念品贈呈、芳名刻印レンガを大学施設に掲示
100万円以上	上記のほか、 <b>工学院特別パートナー</b> として、ご希望があれば資金使途についてもご相談させていただきます。

工学院パートナー、特別パートナーの特典に係るご案内を速やかにご連絡できるよう、Eメールアドレスをご登録下さい。

↓このキリトリ線で切り離してゆうちょ銀行・郵便局にご提出ください。



02	東京	払込取扱票				通常払込料金加入者負担								
口座記号番号						金額	千	百	十	万	千	百	十	円
001504						726996								
加入者名 国立大学法人 東京工業大学基金						料金	備考							
※以下の□欄にレ点またはご記入をお願いします。 I. 寄附目的 工学院教育基金へのご寄附のため II. 本学とのご関係 (該当するものをお選びください) <input type="checkbox"/> 同窓生 (卒業年: <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 年 学科等: ) <input type="checkbox"/> 同窓生のご家族 <input type="checkbox"/> 在校生のご家族 <input type="checkbox"/> 退職教職員 (名誉教授含む) <input type="checkbox"/> 現教職員 <input type="checkbox"/> その他 ( ) メッセージ ( )						III. 確認事項 (記入のない場合は、氏名・寄附金額ともに掲載させていただきます。) 広報誌等において <input type="checkbox"/> お名前掲載を希望しない <input type="checkbox"/> 寄附金額の掲載を希望しない								
ご依頼人 おとところ (郵便番号) ※ おなまえ (電話番号 - - Eメール)						日 附 印								

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第55607号)  
これより下部には何も記入しないでください。

## 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001504	通常払込料金加入者負担
	726996	
加入者名	国立大学法人 東京工業大学基金	
金額	千	百
ご依頼人	おなまえ ※	
料 金	日 附 印	
備考		

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。  
切り取らないで出してください。

この受領証は、大切に保管してください。



# 東京工業大学

Tokyo Institute of Technology

## 工学院教育基金へのご寄附の方法

クレジットカードから	本学WEBページをご覧ください 東京工業大学ホームページ ( <a href="https://www.titech.ac.jp/">https://www.titech.ac.jp/</a> )
コンビニエンス・ ストアから	右上「東工大への寄附」をクリック
インターネット・ バンキングから	「寄附する」をクリック ※「1.寄附目的」で「工学院」を選択
郵便局からの払い込み	下記の払込連絡票をご使用下さい
銀行振込	右記基金室までご連絡ください。 必要書類をお送りいたします。

**ご寄附の際は、寄附目的を「工学院教育基金」と記載下さい。**

## 税制上の優遇措置

個人の方の場合は、所得税法上の寄附金控除の対象となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

また、法人の場合は、法人税法により全額損金算入となります。

## 問い合わせ先

国立大学法人 東京工業大学 社会連携課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

MAIL [syaren@jim.titech.ac.jp](mailto:syaren@jim.titech.ac.jp)

URL <https://www.titech.ac.jp/giving/>

TEL **03-5734-2415・2417**

受付:月曜日～金曜日 10:00～17:00

(祝日、年末年始、その他臨時休業日を除く)

FAX 03-5734-2485

工学院教育基金の目的や使途、工学院パートナー等に関するお問い合わせは下記までお願いします。

国立大学法人東京工業大学

工学院運営事務グループ 寄附担当

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

Eメール: [eng.adm@jim.titech.ac.jp](mailto:eng.adm@jim.titech.ac.jp)

TEL: 03-5734-3108



↓このキトリ線で切り離してゆうちょ銀行・郵便局にご提出ください。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

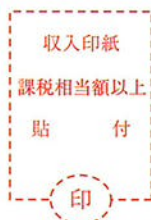
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

振替払込請求書兼受領証について

この寄附金は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号の規定に基づき、財務大臣が指定した寄附金に該当するものです。



この場所には、何も記載しないでください。